

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サニーサイド		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 17日		～ 令和 7年 1月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの安心感・満足度は満点に近く高い傾向にある	送迎時の保護者とのやり取りや、LINEでの連絡事項など、内容を充実させ迅速に報告を行うことで、利用者・保護者との信頼関係を築くことが出来ている。	引き続き継続して取り組み、利用者との信頼関係を損わないよう努める。また、新規の利用者に対しても誠実な対応を心がける。
2	利用者の実態をモニタリングした結果を全体で共有し、それらにもとづく個別支援計画の作成や面談の実施など、利用者寄りになった支援を行っている。	その日にあったこと、前日にあったことは細かな点でもミーティング時に共有している。 個別支援会議や中間評価についても、当日休みの職員にも必ず意見を出してもらうなど全職員の意見を集約し全員で参画している。	計画に基づき、さらに実態に応じた支援を行っていく。 またそのために、気づいた点を引き続き集約し、必要があれば半年を待たず計画の更新を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所としての取り組み(安全計画に基づく訓練や防災訓練、マニュアルの策定など)について、保護者への周知が足りておらず、「どちらともいえない」「わからない」の回答が多くなっている。	現在はHP上で訓練や研修等を行った報告を行っている。 必ずしも全員が見ている媒体ではないため、確実に周知できているとは言えない状況にある。	HP上での更新自体を改めて周知することに加え、通信や会報のような保護者が確実に確認できるような媒体でのお知らせも検討していく。
2	利用児童・職員共に他事業所との交流や地域との交流についての取り組みがなされていない点。	従業員の資質や人手不足の観点からも、他事業所や地域との交流については事故怪我を誘発しかねない、相手方に迷惑をかけるかという懸念があり、これまで避けていた。	定期的には難しくとも、職員と利用者の人数日に余裕がある祝祭日など、チャレンジする機会を設けていくことを検討する必要がある。
3	研修の中身について、職員の資質向上につながっているか疑問の声が上がっている。	研修の講師・ファシリテーターを務めるのが事業所職員であり、日々の業務と並行して準備を進めていることから十分な内容となっていない可能性がある。	研修の外部委託や資料の外注などの検討。